

3月定例会

議案第31号 令和7年度平戸市一般会計予算 歳入：基金繰入金、その他財政全般について

財政の健全化に努めるとともに基金の計画的で効率的な運用を

総務厚生委員会での主な論議

Q 新しいまちづくり基金、「やらんば！平戸」
応援基金の予算の立て方、使途はどうなってい
るか。

A 基本的に各課からの予算要求に基づき、それ
ぞれの基金の目的に沿って充当している。新し
いまちづくり基金は市単独での公共施設整備・
改修事業に充当。「やらんば！平戸」応援基金
は原資がふるさと納税寄附金で、50％は返礼品
などの経費となるため、残りの50％を継続的な
事業などに充当することとしており、臨時的な
ものはこれまでに貯まった分を充当している。

Q 新しいまちづくり基金条例に、本基金設置の
目的が明記されているが、使途が明確でない。
指針などを策定し基金の使途を特定すべきでは。

A 現状は市長の方針の中で決めている。議会に
対してもきちんと説明できるよう施行規則など
の策定について検討していく。

議案第31号 令和7年度平戸市一般会計予算 環境衛生費

CO₂排出量削減率100％に向けて

総務厚生委員会での主な論議

Q 環境関連の各種事業によりCO₂削減に向け取
り組んでいるが、市民一人ひとりができること
には限界があり、大きな取り組みを進めていか
なければ削減目標を達成するのは難しいのでは
ないか。

A 風力発電や太陽光発電、今後考えている木質
バイオマスの事業化を含めると2030年までには
削減率60％は達成できると見込んでいるが、
残りの40％は地道な努力だけでは達成が難しい

意見 令和7年度一般会計予算においては、
物価高騰や人件費の急激な上昇などに加え、
普通交付税の減少が積み重なるなどの要因
から、収支の均衡が図れない状況となっており、
その財源不足を補うための財政調整基金の
取り崩し額は12億6,200万円と、財政
危機宣言を行った平成18年度当初予算にお
ける財源不足額に匹敵する状況にある。

また、「やらんば！平戸」応援基金は、近
年のふるさと納税寄附者の減少と対象事業
の拡大などから、令和7年度末の残高は約
16億6,500万円と、令和5年度末からほぼ
半減すると見込まれている。今後の行財政運
営が大いに懸念されるため、早急な財政の
健全化に努め、基金の計画的で効率的な運
用を行い、職員一丸となってこの厳しい状況
を乗り越え、今後さらなる市民福祉の向上に
努めていただくことを期待する。

と考えている。令和7年度当初予算に計上したア
ドバイザー事業における専門家の意見を踏まえ、
2050年度までに何ができるか検討していきたい。



JRE平戸生月風力発電所

今議会ここに注目

二次元コードから委員長報告全文をご覧ください。

令和7年1月
臨時会
(1月29日)



令和7年3月
定例会
(2月25日～3月19日)



1月臨時会

議案第6号 令和6年度平戸市一般会計補正予算（第8号） 松浦鉄道燃油価格高騰対策支援事業／交通事業者燃油価格高騰対策支援事業 燃油価格高騰の影響を受けている交通事業者を支援

■事業概要

昨今の燃油価格高騰の影響を受けている松浦鉄道株式会社、市内の貸切バス事業者4社およびタクシー事業者4社に対し、燃油高騰分を補助し経営を支援するもの。

総務厚生委員会での主な論議

Q 他の公共交通事業者全体への支援はどのよう
に考えているのか。

A 路線バスや交通船は、運営費補助を行っており、今回、第三セクターである松浦鉄道に加え、
旅客自動車運送事業者である貸切バスおよびタ
クシー事業者に対し個別に補助を行うもの。



燃油価格高騰対策支援補助金活用車両

議案第6号 令和6年度平戸市一般会計補正予算（第8号） 肉用牛経営緊急支援事業 物価高騰の影響を受けている肉用牛繁殖農家を支援

■事業概要

物価高騰を背景とした肉用子牛価格の急激な下落により、経営が圧迫されている肉用牛繁殖農家に対し、
緊急的な子牛価格の補てんを行うもの。

産業建設文教委員会での主な論議

Q 物価高騰の影響については、園芸など、他の
品目にも及んでいるが、畜産業だけを支援すること
になった経緯は。

A 本市農業全体にわたり、他品目などへの支援
策も検討したが、畜産業においては子牛価格の
下落が著しく支援が急務であったため、苦渋の
決断だが、今回は畜産業のみの支援となった。



肉用子牛のイメージ

議案第31号 令和7年度平戸市一般会計予算
部活動地域移行推進事業

運動部だけでなく文化部の（中学校）部活動地域移行は

■事業概要

少子化の中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、地域クラブの設立に向けた支援を行い学校部活動の地域移行を推進するもの。

産業建設文教委員会での主な論議

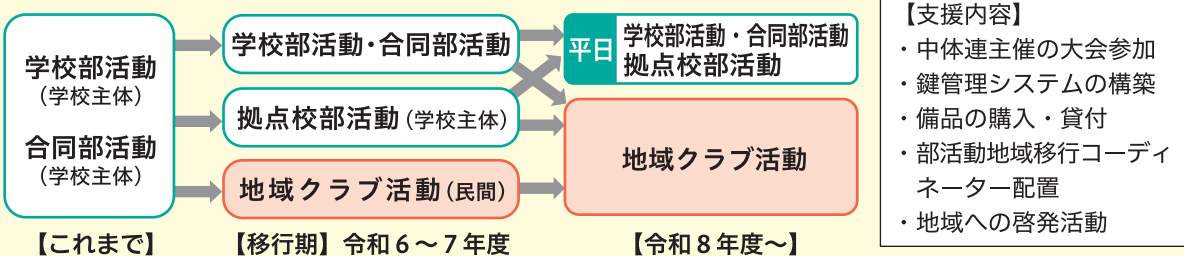
意見 運動部に比べ文化部が進んでいないように感じる。各団体と連携して取り組んでほしい。

A 文化部は、運動部よりも練習場所の確保などで難しい部分はあるが、他市町では高等学校と連携し活動しているところもあり、本市でも中学校と高等学校との垣根を越えた活動の実施も考えられる。今後も運動部、文化部ともスムーズに地域移行できるよう取り組んでいきたい。



吹奏楽部のイメージ

中学校部活動地域移行のイメージ



議案第39号 令和7年度平戸市水道事業会計予算

今後の給水収益の減少を見据えた料金改定の考えは

産業建設文教委員会での主な論議

Q 営業収益中、給水収益が前年度と比較し814万1,000円減少すると見込まれている。給水人口が年々減少する中、今後の水道料金の改定幅を緩やかにするため、早めに料金改定を行うことも1つの考え方だと思うが、料金改定についてどのように考えているか。

A 給水人口の減少が今のまま推移すると、この先4年前後で単年度収支が赤字となり、内部留保資金も令和13年ごろに底をつくと予測される。このことから、今後数年のうちには料金改定しなければならない状況だが、実施時期は今後の

水需要の変化を慎重に予測し、数多く有する水道施設のあり方、今後の維持管理経費などの支出面からも総合的に判断すべきと考えている。



下亀浄水場

議案第38号 令和7年度平戸市工業団地事業特別会計予算

新たな工業団地の整備にかかる工事請負費などを計上

賛否が分かれた案件

■事業概要

企業を誘致し、雇用機会の創出および地域経済の活性化を図るため、田平町上亀免に新たな工業団地を整備するもので、令和7年度当初予算では、主に整備工事にかかる工事請負費を計上するもの。

- 整備対象予定地 平戸市田平町上亀免202-1
ほか9筆
- 開発予定面積 47,870㎡
（内訳）分譲用地20,039㎡、調整池1,630㎡、管理道路2,662㎡
造成森林・緑地・残森林その他23,539㎡
- 主なスケジュール
令和5～6年度 実施設計業務
令和6年度 登記業務・開発許可申請業務・用地取得および伐木業務
令和7～8年度 電柱移設補償・開発許可変更申請・監理業務・整備工事
令和9年度 分譲開始予定



土地利用計画図

産業建設文教委員会での主な論議

Q 令和7年度も継続した企業訪問を行うと思うが、令和6年度と同様に考えているのか。

A 令和7年度以降はさらに訪問回数を増やしていきたいと考えている。

Q 現時点での訪問企業の感触は厳しいものなのか、それとも前向きに検討していただいているのか。

A 令和6年度新規訪問企業6社のほか、10社を継続訪問している。その際、工業団地整備の進捗よくや西九州自動車道の延伸などの環境の変化も伝えており、継続訪問をしている企業においては毎回訪問を受け入れていただいている。本市に進出するかについては企業の経営判断となるので明言は無いが、本市の立地や特性も踏まえて、候補地の1つとして検討してもらっている。新たな訪問先の開拓についても、長崎県産業振興財団と連携して取り組んでおり、訪問企業に対しては随時情報を発信していきたい。

⇒ 賛成多数で原案のとおり可決。

Q 事業費が大きく増加した理由は。

A 当初、前工業団地の造成費を参考に、工事請負費を約4億円と見込んでいたが、年数が経過し、資材費・労務費などの上昇が理由で約7億6,000万円となった。

Q 企業誘致の実績によっては、本工業団地が塩漬けとなる危険性もある。宅地など他の用途への転用も見据えた造成方法とはならないのか。

A 都市計画法に基づく県からの開発許可の制限に加え、盛土規制法などの各種規制に係る申請手続きの問題もあり、転用は想定していない。

Q 本市のさまざまな特性をアピールし、引き続き企業誘致に取り組んで欲しい。

A 誘致にあたっては、自然災害の少なさや交通アクセスの改善などメリットも含めて情報を提供している。将来の本市の雇用につながるような誘致に引き続き取り組んでいきたい。